人・車・道をつなげる新たなサービス

ＩＴＳスポットサービス

1. ＩＴＳスポットサービスの特徴

広域なルートの高速道路情報でカーナビが賢くルートを選択（ダイナミックルートガイダンス）

- 現在の道路に設置されたビーコンやＦＭ局から提供されるカーナビ情報の範囲は、ほぼ県単位に限定。
- 新たなサービスでは、高速・大容量の通信により、広域でリアルタイムな高速道路情報の提供が実現。
- この広域情報により、カーナビが賢く目的地までの最適ルートを瞬時に選択。
- あわせて、わかりやすく簡易図面でも表示。

ドライブ中のヒヤリをなくす、事前の注意喚起（安全運転支援）

- 事故や故障車・荷物の落下は、中国地方の高速道路で約１６分に１回発生。
- ＩＴＳスポットから受信した故障車や落下物の情報を障害の手前でカーナビがドライバーに注意喚起。
- また、事故多発箇所でも、注意喚起をすることでドライブ中のヒヤリを削減。

2. サービスが受けられる道路

中国地方の１１路線、約１，０００ｋｍでサービスが受けられます。

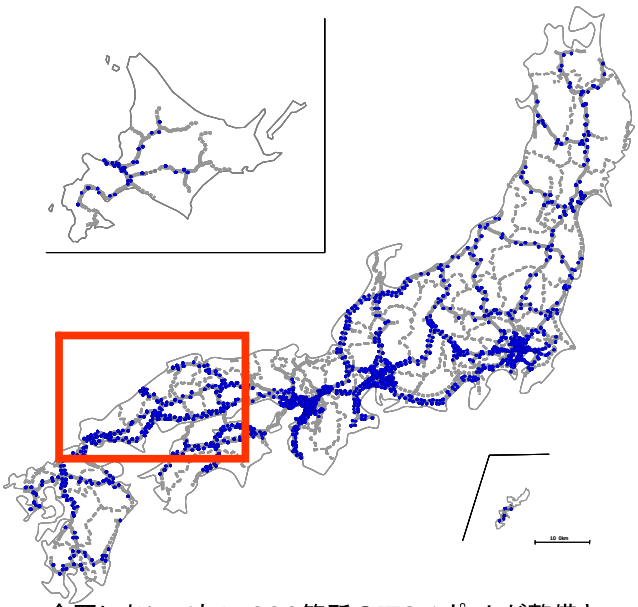
- 岡山道
- 江津道路
- 山陰道
- 山陽道
- 中国道
- 浜田道
- 広島岩国道路
- 広島道
- 松江道
- 安来道路
- 米子道

（別図参照）

中国地方のＩＴＳスポットサービス整備状況

○　**中国地方の高速道路において約１８０箇所に路側機が整備されています。**





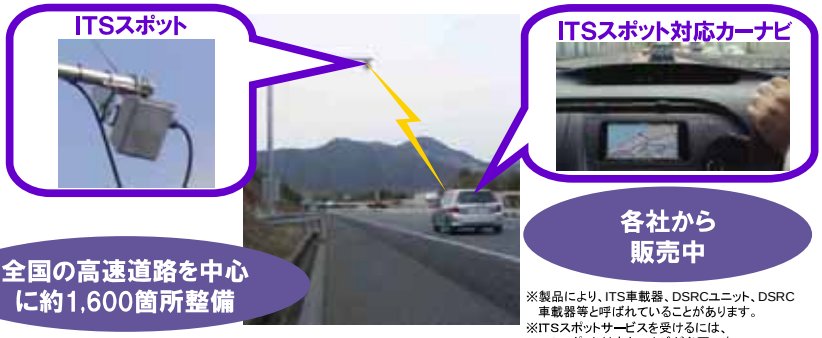
全国においても1，600箇所のITSスポットが整備されています

ITSスポットサービス

2011年3月30日、中国地方でのサービスはじまります！

ITSスポットサービスとは？

ＩＴＳスポットサービスとは、これまでカーナビ、ＥＴＣなどバラバラの端末で行ってきた各種サービスを、ＩＴＳスポット対応カーナビ１台で行うことができるものです。



※製品により、ITS車載器、DSRCユニット、DSRC車載器等と呼ばれていることがあります。
※ITSスポットサービスを受けるには、ITSスポット対応カーナビが必要です。

受けることができるサービス

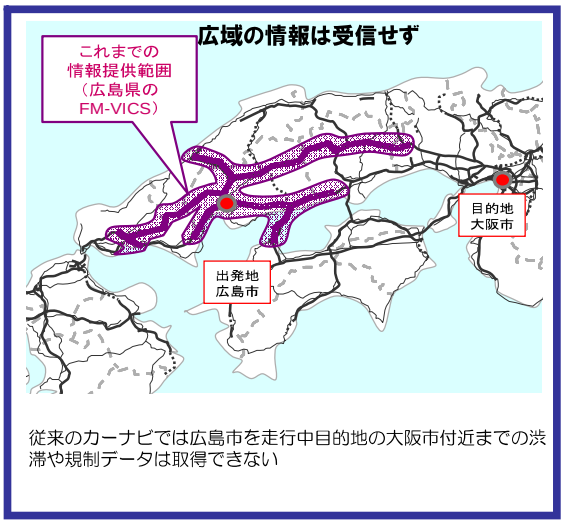
①ダイナミックルートガイダンス
②安全運転支援
③ETC

ダイナミックルートガイダンス

ＩＴＳスポット対応カーナビでは、従来は受信できなかった広範囲の渋滞や規制情報を受信することが可能になります。

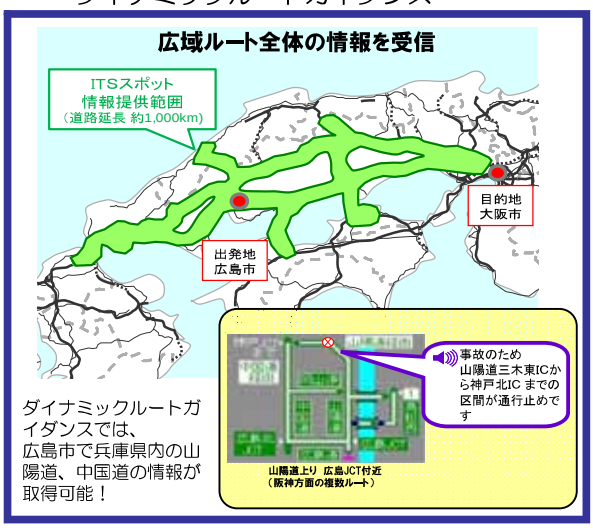
例：広島市から大阪市方面に向かう場面

従来のカーナビ（FM-VICS）



従来のカーナビでは広島市を走行中目的地の大阪市付近までの渋滞や規制データは取得できない

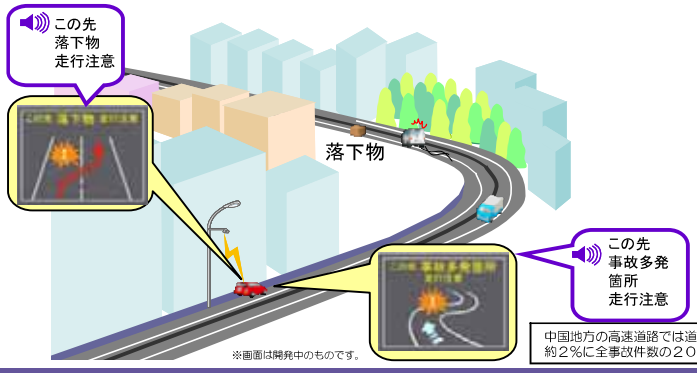
ダイナミックルートガイダンス



ダイナミックルートガイダンスでは、広島市で兵庫県内の山陽道、中国道の情報が取得可能！

安全運転支援

カーブなどの事故多発箇所の予告や、リアルタイムでの落下物の情報などにより注意喚起



中国地方の高速道路では道路延長の約２％に全事故件数の２０％が集中

ＥＴＣ

ＩＴＳスポット対応カーナビは、ＥＴＣの機能も一体かしているので、ＥＴＣも使えます。

その他のサービス

一部のＩＴＳスポット対応カーナビでは、ＩＴＳスポットでのインターネット接続が可能です。

全国５０箇所のサービスエリアや道の駅でサービスが開始されます。中国地方では、山陽自動車道小谷ＳＡ下り線並びに国道５４号道の駅「ゆめランド布野」で、観光案内、駐車場案内情報が利用できます。

※ITSスポットサービスを受けるには、ITスポット対応カーナビが必要です。